

奈良県が平城遷都1300年祭で組曲「大和路シンフォニー～悠久のやまと～」を作ったが、素晴らしいものである。出雲大社を題材にした曲をつくり、出雲市をPRしてはどうか。曲は、将来にわたって出雲の財産となる。

高校から看護の専門学校があればよいと言われている。教育費の関係からも地元志向が強まっている。出雲には看護短大はあるが看護専門学校がないので、ぜひ誘致をお願いしたい。

佐田町橋波地区は神戸川が大きくう回して、災害がよくある場所です。上流の来島ダムの水利使用について確認書の期限(2013年)がくる。この際には事前に住民へ説明してほしい。また、ダムからの放水量等がわかるシステムを検討してほしい。

市内中学3年生3名の面会がありました。

- ・過疎地について、市長の考えを聞かせてください。
- ・地域の活性化を図るために過疎地域を中心に行っている施策はありますか。
- ・過疎化が進み、市役所として困っていることはありますか。
- ・過疎化を食い止めるために、私たち中学生にもできることはありますか。また、私たちに求めることはありますか。

官と民の協働について市長の考えを伺います。官と民が理解し合いながらよりよい地域をつくっていきたくと思っています。

「来て楽しい、住んで楽しい出雲」にするために3点提案したい。

- ・観光ルートとして、出雲市駅⇒西谷墳墓⇒荒神谷遺跡(斐川)⇒出雲大社のルートでバスを走らせる「古代出雲ロマンの旅」。
- ・まちづくりとして、中町、扇町など中心街の活性化が必要。駅前の十字路付近に、買物のできる店やくつろげる喫茶店がほしい。また、商店に出雲の特産品(わかめ、のやきなど)や子供向けの木のおもちゃを置いてはどうか。駐車場・駐輪場も必要。
- ・定住対策として、若者が働く場所を確保してほしい。もっと定住促進を推進していただきたい。

- ・市に対しての外部からの要求、いわゆる「口利き」の公開と公開方法について。
- ・市の予算編成過程を公開しては。市民の関心も高まる。
- ・財政の健全化について、予算ゼロベースからの見直しに関心をもっている。また、青少年文化センターの設置については、経緯が分かりにくい。既存の施設で考えてみてはどうか。

後期高齢者医療制度の保険料について、納付書作成や納付書の郵送にも経費がかかっている。自治委員さんに配布を依頼し、コスト削減に努めるべき。また、合わせて市の財政改善について目標数値を立てていくべき。

◆「市長面会日」は予約制です。

- ◆開催日/原則月2回(本庁1回、支所1回)
- ◆対象/個人またはグループ(5名まで)
- ◆面会時間/1人(グループ)あたり20分以内
- ◆広報情報課へお電話でお申し込みください。先着順としますが、多くの方に面会していただくため、初めての方を優先します。
- ※市長面会日は市民の皆さんとの意見交換の場であり、陳情・要望などの直接交渉の場ではありませんのでご理解ください。
- ※意見・提案については、個人情報を除き原則公開します。
- ※開催日等は、広報いずもやホームページでお知らせします。

◆市長面会日 11月の開催予定

開催日時	場所	申込受付期間
11月13日(金) 14時～17時	市役所 本庁	10月26日(月)～ 11月10日(火)
11月25日(水) 13時30分～ 16時30分	市役所 大社支所	10月26日(月)～ 11月19日(木)

市長面会日でこのようなご提案 ご意見をいただきました



7月から毎月2回「市長面会日」を設け、市長が市民の皆さんと直接お会いし、市政に対するさまざまなご提案やご意見を伺っています。皆さまからいただいたご提案やご意見を可能な限り公開することで、透明性の高い開かれた市政運営を行っていきます。9月までに、33組66名の皆さまと面会しました。市長面会日でいただいたご提案・ご意見の一部をご紹介します。

面会者の方からこのようなご提案・ご意見をいただきました

- ・5つ星の出雲市の実現を職員に徹底し、その実現を評価するシステムをつくってほしい。
- ・阿国座に代わる観光戦略として、「神在月」を今後のまちづくり政策に活かしては。
- ・「神話」は市民の共通財産。まちづくりには市民パワーが必要。出雲市駅から市役所までに、神話モニュメント、神話を描いたのれんや旗を設置するなどの構想がある。NPOを立ち上げる予定である。
- ・この構想を中心市街地活性化計画に盛り込んでほしい。
- ・市民あげでの「おもてなしの心」、市長がリーダーシップをとってほしい。
- ・障がい者用駐車場を、障がい者でない方が身障者マークを付け使っていたり、2台駐車できる専用駐車場に3台止まっており運転席のドアが開けられないといったことがある。障がい者の運転席側ドアに貼る専用マーク(シール)を作ってはどうか。
- ・障がい者の作品を展示したり販売するルートを作るなど、雇用の場を確保してほしい。
- ・5つ星の出雲市の実現に向け、どのようなスケジュールを立てているのか。
- ・国民年金程度で入れる施設をつくり、老後を安心して暮せる出雲市にしてほしい。
- ・市の大型施設への市費の投入について、人件費削減などゼロベースで見直してほしい。
- ・トキの分散飼育の問題など、5割以上の補助がなければやめるべき。できるものとできないものの判断を。
- ・情報公開はどの程度まで可能か。直談判などはないように。
- ・「神話の夢舞台出雲」に代わる新たなキャッチフレーズを考えているのか。例えば「バタデンを応援しよう」などどうか。
- ・青年会議所で中学生向けに作成した市の紹介ビデオが県外客に好評。市でも活用してほしい。
- ・市公共工事の地元説明会など、説明の方法に工夫が必要。地元住民の知りたいことを説明すべき。

市職員(特に窓口職場職員)があいさつをすることにより市役所の印象が変わる。年配の方へのあいさつや声かけは特に大切である。

おたすね・市長面会日のお申し込み/広報情報課 ☎21-8578 FAX21-6509